

企業見学で学んだり考えたことを レポートにまとめ発表しました。

キャリア桐の葉Ⅱの進路学習「企業見学」では、最初に和歌山の産業の特徴について学習し、各自が興味のあることについて調べ、その後に企業見学でお世話になる企業について調べます。これらの事前学習を通して、和歌山は自然だけではなく、産業にも特徴があり、素晴らしい功績を残している企業が多くあることを知り、和歌山の産業や企業に誇りをもつようになります。また実際に企業見学に行くことで、企業は利益を求めるだけでなく、仕事を通しての社会貢献を大切にしていることや一人一人が仕事をする上での意義ややりがいを感じ、自己実現していくことを学びました。



各企業がもつ「特性」や「技術」を生かして、社会が必要とする商品やサービスを開発・提供することで、世のため、人のために役に立っていることに喜びを感じていることや、働く上で向上心を持って常に学び続け、社会人として1人の人間として成長していくことに喜びを見出していることに生徒たちは心を動かされたようです。

企業見学で学んだことや自分の将来を見据えて考えたことをまとめたレポートには、学校での当番の仕事、係りや委員会の仕事、掃除を誠実にやることなどには意義があることを実感したり、学校を卒業して働く際に大切なことにつながっていくことを学び、日々のやるべきことに誠実に取り組んでいこうと考える感想が多くありました。



「本当にしたい」⇒「社会への貢献」

京都大学訪問で、私は将来のために「自分の本当にしたいこと」を探したいと感じました。しかし、これからはそれをどう「社会への貢献」につなげるかも考えていこうと思います。簡単に見つかるものだとは思っていませんが、あきらめず探せるよう頑張りたいです。



お客様のことを一番に考えて挑戦していきたい。

サンコーの人たちは日々お客様のために挑戦し、たくさんの人に感動を与えていた。全員が明確な目標を持って挑戦し続けているからできたことだと思う。社長さんに教えていただいたように、目標をもって何事も取り組みたい。そして無理だと思っても挑戦し、失敗しても、たくさんの経験をし、本当に自分に向いていることを見つけない。そして私が仕事をするときにはお客様のことを一番に考えて挑戦していきたい。その思いが仕事をするときに一番大切だと気付いた。